



公明こうべ



発行：公明党神戸市議員団 神戸市中央区加納町6-5-1
<http://www.kobe-komei.net>



震災から30年

“南海トラフ地震”に備える

南海トラフ地震で想定される津波への対策として、神戸市では、千年に一度の大規模な地震による津波（レベル2）を想定した対策を2023年3月に完了しました。



千年に一度の津波から人とまちを守る防潮堤

本年は、阪神・淡路大震災から30年を迎えます。公明党市議員団は震災以降、災害に強いまちづくりを目指し、様々な施策を推進してきました。

以下、具体的な防災・減災対策の主な取り組みを紹介します。今後も市民の安全・安心を守り、南海トラフ地震に備えるため、更なる施策の強化に取り組んでまいります。

また、昨年の9月議会および11月議会を通じて、物価高から市民生活を守り、子育て・教育支援の充実を図るとともに、神戸空港の国際チャーター便の就航など、神戸経済の活性化を目指して訴えました。

※本文にはユニバーサルデザインフォントを使用しています。

「須磨海づり公園」がリニューアルオープン

神戸市立須磨海づり公園は、1976年の開園以来、約524万人の方に利用されてきましたが、2018年の台風被害により休園していました。

再開を求める多くの市民の声を頂き、このたび、釣台をはじめ、海を見ながらくつろげるテラスや地元海産物などの飲食、販売店やバーゴラ広場の新設など再整備が完了し、釣りをする人に限らず海を楽しんでいただける施設として、昨年11月1日にリニューアルオープンしました。



国際便に特化した「神戸空港第2ターミナル」が本年4月18日オープン。韓国・台湾・ベトナム便が就航します。

特に神戸空港から韓国の仁川空港には1日2便のチャーター便が就航するため、仁川空港を経由して39ヶ国111都市の世界に大きくつながります。また海外から多くのお客様に神戸を訪れて頂けると期待しています。

久元市長は「他にもいくつかの空港会社から引き合いがあり、国際空港としての大きな一歩を踏み出す」と発言されました。2030年前後には国際定期便就航を予定しています。

経済 神戸空港から韓国・台湾・ベトナムへ飛ぶ



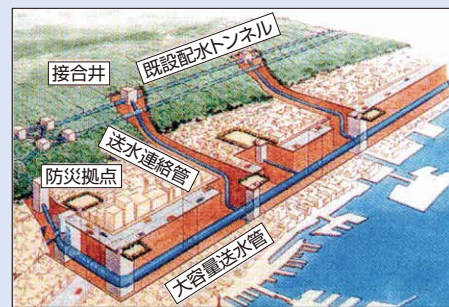
市政へのご意見・ご相談は下記の各区所属議員にお問い合わせ下さい。

- | | | | | | |
|---|--|---|--|---|--|
|
東灘区
岩佐 健矢
TEL.080-7994-4645
iwasa.kenya@gmail.com |
灘区
高瀬 勝也
TEL.080-6209-7704
takase.katsuya@gmail.com |
中央区
萩原 泰三
TEL.080-7994-4627
hagiwara.taizo@gmail.com |
兵庫区
菅野 吉記
TEL.080-6209-7711
yoshinori@sugayan.jp |
北区
徳山 敏子
TEL.080-6209-7712
toshikotokuyama@gmail.com |
北区
堂下 豊史
TEL.080-4363-9251
doshita.toyoji@gmail.com |
|
長田区
坂口 有希子
TEL.080-7674-6456
sakaguchi.akiko2022@gmail.com |
須磨区
門田 まゆみ
TEL.070-3182-6213
kadota.m.komei@gmail.com |
垂水区
壬生 潤
TEL.080-6209-7707
mibujun@gmail.com |
垂水区
細谷 典功
TEL.080-7674-6455
hosoya.kobe@gmail.com |
西区
吉田 謙治
TEL.080-6209-7700
yoshida.kenji@gmail.com |
西区
宮田 公子
TEL.080-7674-6451
kimikomiya0120@gmail.com |

災害時にも水を確保 地震に強い「大容量送水管」

水道の復旧まで最大で3か月を要した阪神・淡路大震災を教訓に、従来からある六甲山中の2つの送水トンネルに加え、市街地の地下深くに高い耐震性と貯水機能を備えた「大容量送水管」を、震災後20年をかけて整備しました。

阪に大きな地震で水道施設が破損するようになると、150万市民が12日間使う分の水（1人1日3リットル換算）を確保し、他の貯水施設とあわせて26日間の水を確保できるようなっています。



【提供】神戸市水道局

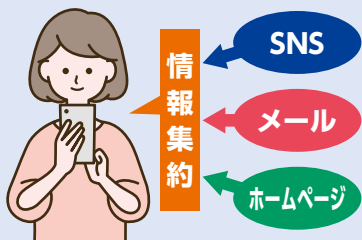
防災・減災を前に進める

どこに逃げたら良いか すぐ分かる

災害発生時や災害発生のおそれがある時に、最新の防災情報（気象・避難・避難所情報等）をまとめて分かりやすく提供するポータルサイトを「リアルタイム防災情報」を



2024年3月から提供を開始しました。これまで、様々なホームページやメール、SNSなどからそれぞれ発信されていた災害に関する情報などを一か所にまとめ、分かりやすく表示しています。天気予報や、交通機関・道路などの便利ナリンク集も掲載していますので、災害時はもちろん、普段から活用できます。



「目で聴くハザードマップ」 の運用を開始

視覚障がい者の方から、災害時の避難情報の入手が非常にむずかしいとの不安の声をお聞きしていました。



神戸市ではハザードマップの音声CDを配布したり、区役所で電話の問合せによる対応を行ってきましたが、スマートフォンアプリを用いて災害情報を音声で読み上げるサービス「目で聴くハザードマップ」を導入し、視覚障がい者が避難情報を手に入れやすい環境を整備していくよう要望してきましました。

その結果、昨年末に音声ハザードマップの運用が開始され、活用促進に向けて広報の充実も進められています。

子育て・教育 新たなしくみで 部活動を残す



中学校部活動の地域移行について、教育委員会は選択肢が広がると説明していますが、具体的な内容は決まっていないうえ、運営費用は家庭負担となるため、経済的負担や安全面、活動時間に関する懸念が大きく保護者から不安の声が上がっています。

福本教育長は「保護者や子供たちの不安を理解し、具体的な情報を発信する必要があり」と述べ、広報の強化や説明会の重要性を強調しました。

部活動の地域移行には課題が多く、社会全体での考慮が求められています。指導者の確保や活動形態については、今後調整が必要です。



子育て・教育 学校給食の保護者 負担を増やさせない

長引く物価高により市民は多大な影響を受けています。中学校の全員給食も始まる中、経

済的負担が増えないよう食材費の高騰分に対する支援をし、現行の給食費維持のため、令和7年度も継続的に取り組むべきと質問しました。

福本教育長は「精米が全国的に高騰しており、給食の精米も市場に連動した値上げが予想されるが、保護者の負担を増やすことなく、栄養バランスの取れた給食の提供が続けられるよう対応したい」と約束しました。



子育て・教育 子どもたちが気軽に 本に親しむ環境を整える

本市では、令和3年度より「こうべつ子読書活動推進プログラム」を実施し、子どもの読書活動の推進に取り組んでいます。親からは「子供が学校から本を持って帰ってくるのを嫌がる」、「仕事をしながら図書館に連れて



全国初 QRコードで帰宅困難者に滞在施設を案内

神戸市では災害時に発生する「帰宅困難者」に対し、駅などにQRコードを表示し、条件に応じて自動で一時滞在施設に迅速に案内します。

**災害発生！電車がSTOP
スマホで一時滞在施設へ**

事前登録不要
どこでも誰でもログイン
インバウンド対応として
多言語切替機能を搭載
施設の入退所手続きも
スマホで簡単操作

施設の希望なし

特になし

避難に支援が必要

要支援者

小さい子供がいる

乳幼児家族

女性専用施設を希望

女性専用

海外から来ている

外国人の方

旅行で神戸に来ている

旅行者

生活 65歳以下も認知症 検査に補助

近年、認知症への不安が大きくなっています。認知症の方やその家族が認知症と共に希望を持って暮らせる社会へという新しい認知症観や若年性認知症も神戸モデルの対象になることの広報に努める必要があると指摘しました。

久元市長は「認知症の方が住み慣れた地域で自分らしく暮らすために、認知症に対する正しい理解を促進するために当事者や家族の参画を得て対話しながら施策の立案を行っていく」、また小原副市長は「若い世代でも神戸モデルの対象にあることを今後さらに力を入れて周知していく」と答弁しました。

